

魅力ある授業のために（単元化例） 古典探究 読むこと

1 単元の目標

- (1) 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕 (2)ア
- (2) 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。〔思考力、判断力、表現力〕 A(1)エ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	古典探究	学年類型	3年	単位数	4単位	話すこと 聞くこと	
単元名	項羽と比較して日吉丸の人物像を捉えよう (『日本外史』)					書くこと	
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。		「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。		複数の古典の作品を読み比べ、人物像の共通点や相違点について論述する活動を通して、粘り強く解釈に取り組み、作品の価値について考察する中で、自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
複数の古典の作品を読み比べ、人物像の共通点や相違点について論述する活動。(2)イ参照							
時間	授業のねらい・主たる学習活動	重点項目			評価方法		
		知	思	態			
1	本文について、ペアで解釈文をまとめる。 ①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②ペアで交互に本文を音読し、漢文訓読のリズムに親しむ。 ③漢文の修辞技法を理解し、ペアで本文の読解に取り組む。 ④ペアで仕上げた解釈文を4人グループで回し読みする(③のペアは別々の班に分かれる)。 ⑤自分の解釈について気付いたこと、考えが深まったことなどをワークシートにまとめる。	◎			・行動の点検 (音読) ・記述の分析 (ワークシート)		
2	『史記』項羽本紀と比較して、日吉丸の人物像を捉える。 ⑥『史記』項羽本紀と読み比べ、項羽と日吉丸の描かれ方について気付いたことや項羽との相違点をワークシートに書き出す。 ⑦グループで個人の意見を出し合い、日吉丸の人物像を話し合う。 ⑧グループでの話し合いで考察した点も取り入れながら、日吉丸の人物像について論述する。 ⑨振り返りを行う。		◎	◎	・記述の分析 (論述) ・記述の分析 (振り返り)		
定期考査		◎					

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	「日本外史」の成立した背景や「史記」項羽本紀との関係を踏まえながら、項羽との比較を通して日吉丸の人物像を的確に捉え、作品についての解釈を深め、その価値についても考察している。	「日本外史」の成立した背景や「史記」項羽本紀との関係を踏まえながら、日吉丸の人物像について、その内容の解釈を深め、作品の価値についても考察している。	日吉丸の人物像について、解釈を深め、作品の価値についても考察している。